

1) 監理計画の基本方針

- 日本・ホンデュラス両国関係機関の担当者と密接な連絡・報告を行い、遅滞なく建設工程に基づく施設の完成を目指す。
- 設計図書に忠実に施設を建設するため、施工関係者に対して適切、かつ迅速な指導と助言を行う。
- 施工方法、施工技術等に関しては、技術移転を行う姿勢で臨み、無償資金協力プロジェクトとしての効果を発揮させる。
- 施設完成引渡し後の保守管理に対し、ホンデュラス国担当者に適切な助言と指導を行い、円滑な運営を促す。

2) 施工監理業務

① 工事契約手続きの援助

施主であるホンデュラス国文部省を代行して図面説明を行い、施主代表の立会いのもとに入札を行う。工事内訳明細書の評価・査定を行い、工事契約に立会う。

② 支払い承認手続き

工事期間中、及び工事完成後に支払われる工事費の支払請求内容の検討と承認を行う。

③ 工事報告

定例報告会を催し、施主である文部省に工事報告を行う。

月報を作成し、施主、日本国大使館、JICA事務所、日本国外務省、JICA本部に各々提出する。

④ 現場において定期的に会議を持ち、工事進捗状況の確認、及び施工業者への指導を行う。

⑤ 施工図等の検査と承認

施工業者から提出される施工図、機器類の製作図、材料見本等の検査を行い、承認を与える。

⑥ 検査、立会い

着工から完成迄の建設中の各出来高に対する検査に立会い、工事の承認を与える。

コンサルタントは、工事が完成し、契約条件が遂行されたことを確認の上、施設の引渡しに立会い、施主の受領承認を得て業務を完了する。

(4) 資機材調達計画

1) 建築資材調達

建築資材は、ホンデュラス国内で調達することを原則とするが、当国内で生産している資材は少ないため、大半は隣接国及び日本から調達する必要がある。

- セメント : 国営のセメント会社 (PIEDRA AZUL, INDUSTRIA CEMENT DE HONDURAS) 2社で生産 (昨年度生産量 4,278,000袋) されており、テグシガルバ市内では、PIEDRA AZUL社が供給している。
- 鉄筋 : 国営の鉄筋会社 (INDUSTRIA NACIONAL DEL ACERO) で、アメリカ規格 (ASTM) に基づいて生産されている。生産規格強度は ASTM A615 Grade 40 ($f_y = 40,000 \text{ psi}$) 一種のみである。
- 鉄骨 : 当国では生産されていない。全て輸入材であり、輸入先は西ドイツ、ブラジル、日本等である。現地で入手可能な型材を使用し、計画する。
- レンガ・瓦 : 豊富に産出される良質な粘土により生産されている。ただし、瓦の種類は2種類で、役物などは無い。また、各メーカーの工場設備により、色や寸法等の均一性に欠けるので、大量に使用する場合は、数量をまとめて単一の工場に発注する必要がある。
- 防水材 : アスファルトシートや各種防水材は輸入に依存している。
- 石材 : 大理石、砂岩製品は生産されている。大理石のチップを利用した良質のセラゾータイルは大量に生産されている。
- タイル : 150角のセラミックタイルが生産されているが、種類が限られている上に、その品質には均一性が無いため、使用に際しては注意を要する。
- 木材 : マホガニー、杉、松、樺材が生産されている。松材は量も豊富で、当国の主要輸出産物の1つである。合板も種類、量共に豊富である。
- 建具 : マホガニー、松、樺の木製パネルドアは、良質かつ豊富である。合板を利用したフラッシュドアも生産されている。アルミ枠ジャロジーは、型材をアメリカから、ガラスを西ドイツから輸入し、当国で組立てている。材料を輸入しているため高価である。
- 塗装材 : 北部海岸地方のサンペドロスーラにて生産されており、現地調達が可能である。

2) 設備資材調達

ホンデュラスにおける設備資材の生産品目は、一部の限られたものしかない。PVCの給排水管、コンクリート管、一般電線、電線管、照明器具の一部のみである。ホンデュラス産は全て種類が少なく、品質に信頼がかけないものが多い。そのために設備資材

のほとんどが外国に依存しているのが現状である。輸入相手国はアメリカ、メキシコ、コスタリカ、日本、ヨーロッパ、アジアと多国にわたり、受注後発注方式により資材は調達されている。

本プロジェクトにおいては、品質・メンテナンス・調達を考慮して、一部のホンデュラス産資材を除き、日本で調達した資材を使用するのが、建物のグレードを保證することになると考える。

調達主要資材

ホンデュラス

機械設備 : P V C管(排水用)、コンクリート樹

電気設備 : 照明器具(一部)

日 本

機械設備 : ライニング鋼管、衛生陶器、水栓金物、ポンプ、パッケージエアコン、ルームエアコン、鋼管、保温材、消火栓箱等

電気設備 : 電線、電線管、コンセント、スイッチ、トランス、ボックス類、電力・通信ケーブル、避雷針等

3) 機材調達

ホンデュラス国内の市場性を考えると、使用目的に合致したグレードの機材を的確に選出する事は難しい。特にシステム的に稼動する機材については更に困難である。現地でのアフターケアを十分に考慮した上で、原則として日本国内で調達を行うものとする。ただし、仕様面、価格面の双方において妥当性を認められる機材、あるいは日本国内において調達不可能な機材については、現地調達を行う。

4-5 概算事業費

(1) ホンデュラス国側負担工事概算費用

1) 敷地内施設建設場所の造成・整地工事 約143,520レンピーラ

2) フェンスと門の建設 約 20,000レンピーラ

(2) 維持・管理費用

本研究所の運営に必要な経費、施設維持管理費、施設運転経費などは文部省予算にて賄われる。

本研究所の活動計画、要員計画、及びホンデュラス国文部省より提出された資料の分析を基に、初年度からの年間維持管理費を試算すると次のように見込まれる。

人件費(研究所員81名の年間給与)	993,850
外部委託費	70,000
研修参加費用(研修参加者の日当・宿泊・旅費 25レンピ/人・日×5日×3,300人)	412,500
研修用教材費(10レンピ/人・日×5日×3,300人)	165,000
施設・機材保守管理費	208,574
消耗品・雑費	60,500
	計 1,910,424
	レンピーラ/年
	(≒141,370千円/年)

上記の中に施設の光熱費が含まれていないのは、現在ホンデュラス国では国立施設の電気、水道、電話料金が免除されているためである。

上記の年間維持管理費1,910,424レンピーラは、文部省の1985年度予算325,365千レンピーラの0.58%に当る。

又、基本設計調査の協議議事録の署名時に、ホンデュラス国文部大臣より調査団団長宛に、本プロジェクトの予算処置を確実に遂行する旨の手紙(別添:資料編I)が大臣署名入りで手渡されたことに加え、ホンデュラス国経済予算企画省との打合せにおいても、本件の予算確保については肯定的な意向であり、上記予算措置についての問題はないと考えられる。

第5章 事業評価

第5章 事業評価

ホンデュラス国では、人材育成のための教育レベルの向上、特に識字率・就学率・教員資質の向上と、教育施設や機材の充実等が重要な課題とされている。本研究所は教員の資質向上を図ることによって、教育レベルの向上、ひいてはホンデュラス国の経済開発に寄与すべく、教員研修の中核として計画されている。従って、本研究所は教育の場を通じて、広く社会の様々な分野にその効果を及ぼすものと言える。

本研究所の事業評価は、次の4つの観点から、その波及効果を中心に行う。

社会評価

本プロジェクトは、本研究所及び各地のパイロットセンター、サブパイロットセンター等において広く教員の研修を実施し、専門教科に関する知識・能力の増進、教授技能の向上等、教員の資質の向上を図るものである。これに伴って初等・中等教育のレベルが向上し、基礎教育の充実が図られることとなる。このことは、多くの人材の育成に大きく寄与することが期待される。これらの人材は、将来種々の分野において経済活動の活性化に重要な役割を果たすことになると思われる。

本プロジェクトが全国規模の活動であるため、教員のレベルアップは識字率の向上、留年と中退の減少、就学率の増大等、様々な教育問題にも影響を及ぼすことは間違いない。本プロジェクトは、民主主義の実践と国家のアイデンティティーの確立にも役立つものであると評価される。

教員研修制度の整備

本研究所は教員研修の中核として存在し、そこで教育に関する調査・研究、研修カリキュラム・教材開発の他、全国各地の中核となる初等教員約250名と、テグシガルパブロックの全中等教員約3,100名の研修も実施する。それと共に、初等教員研修は5段階ピラミッド型研修機構によって、全国の全教員（約2万名）に研修を拡大する。中等教員研修に関しては、本研究所で受講できない残りの全教師（約3,400名）を4つの地区にブロック分けし、その各ブロックのパイロットセンターへ本研究所の講師が出向いて、集まった教師に直接研修を行う計画である。このように、本研究所を中心とした研修制度は、全国レベルで統一のとれた教員研修制度として評価でき、研修効果は年を追う毎に増大するものと思われる。

また一方で、実施機関が現職教員の声を吸い上げることにより、研究所の調査研究部門は現場の教育により相応しい研修カリキュラムの開発、将来の変化に備えた教育内容の研究など、柔軟な研究開発ができるものと期待される。

予算計画

本研究所の年間運営費の概算は、4 - 5、概算事業費に記述した通り、総額約191万レンピーラである。この額は1986年の文部省年間予算の約0.58%に相当し、高等師範学校の1.61%（文部省の支出分のみ）と比較しても過大な経費とは言えない。また、当初の本プロジェクトに関するホンデュラス側の予算確保は確約されており、維持管理には支障はないと言えよう。前述したように、このプロジェクトのホンデュラスの社会経済への貢献の大きさ、ホンデュラス国の自助努力によって本プロジェクトが推進されなければならないことを考えれば、将来にわたって安定した予算の確保が望まれる。

管理運営体制の評価

本研究所の管理運営体制は、所長と2人の副所長の下に研究部、研修部、教材開発部、及び総務部の4部によって構成されており、81名の所員を擁している。本研究所は、文部省の他の部局と同格に扱われるため、高い視座から教育問題を捉えると同時に、教育の現場と直結する研修部門を持ち、全国にその影響を及ぼすことのできる研究所として高く評価できる組織体と言える。

本研究所の組織は、研究部の研究者と研修部の講師が、所属する部は違っても組となって調査・研究、開発、研修を行うよう有機的組織計画がなされており、研修の評価から開発や研修計画へのフィードバックが効果的にできるメリットを持っている。このように、研究、開発、実施の3つの活動を一本化してできる組織は効率が高く、この点からも大きく評価できる機関である。

また、客員講師の招へいの予定があるほか、日本の専門家派遣や青年海外協力隊員の参画等も期待されている。これらが実現されれば、研究・開発、及び研修の両面で高い効果を上げることができると共に、健全な管理運営にも大きく寄与することになるものと考えられる。

第6章 結論・提言

第6章 結論・提言

6-1 結論

ホンデュラス国は経済の発展を最重要課題にしているが、低い識字率、低い教育レベルのために、その発展が阻害されている。本教育実践研究所は、ここで実施される研修によって現職教員の資質を向上させ、よって多くの教育問題の改善を図り、最終的にはホンデュラス国の経済発展を図ろうというものである。

特に国家開発計画の中でも掲げている教育のレベルアップには、教員の質の向上が不可欠であると共に、最も効果的な手段の一つであり、本研究所が果たす役割は非常に大きいと言える。また、教育は、経済的・社会的・文化的発展に寄与し、よって人類の希求の願望である豊かな文化的生活の実現への道を開くものである。

このような計画を、日本の無償資金協力によって施設を建設し、技術協力によってその運営と活動を支援・促進することは、極めて具体的で援助効果の高いものであり、速やかな実現が望まれる。

6-2 提言

本計画の実施に当たり、以下の提言を行なう。

(1) 要員の確保

本研究所の運営・活動に最も重要なのは、いかに優秀な専任研究者、専任講師を雇用することができるかである。従って、早期から優秀な人材の発掘と、その採用への働き掛けを行なうことが必要である。

本研究所は全く新しい組織であるが、第2章で述べたように、ホンデュラスは教員の再教育の経験を有している。これら過去の計画に携った関係者の参画を得てその経験を生かすと共に、彼等の力を借りることが望ましい。

(2) 予算の確保

本研究所において円滑に研究・研修活動を行なうためには、本研究所の運営に必要な予算が確保されることが不可欠である。

国家開発計画では、生産活動に直ちに役に立つ技術教育に力を注ぐことをうたっているが、それは生産活動には速効性があっても、真の経済発展には繋がるものではない。基礎教育を充実することが高等教育を支え、高い技術力に裏打ちされた経済活動、ひいては高位の国家開発をもたらすものである。従って、基礎教育充実の第一歩となる本研究所が十分な効果を上げるよう、ホンデュラス政府が十分な予算を確保することが必要である。

(3) 研修参加体制

研修を開催しても、参加者がいなければ無意味である。ホンデュラスの教育行政において、現職の教師が意欲をもって参加できる制度（例えば何かの資格制度等）、容易に参加出来る制度（服務規定等）、経済的支援等の環境作りを行なうことが必要であると考え

(4) 整地工事

円滑な建設工事が実施されるためには、工事着工前に、ホンデュラス国政府の手によって整地工事が為される必要がある。

(5) ホンデュラス政府の行なうべき業務

本研究所の建設工事を円滑に進行するためには、ホンデュラス国政府が、以下の事項を遅滞なく行なうことが不可欠である。

- i) 本プロジェクトを遂行するために必要なすべての許可申請・承認取得をすること。
- ii) 交換公文締結後、速やかに銀行取り極め（BANKING ARRANGEMENT）を行なうこと。
- iii) 無償資金協力に関係する機材及び資材のホンデュラスの荷降し港での速やかな荷降し、免税と通関手続き、及び速やかな国内輸送を保証すること。
- iv) 本プロジェクトに携わる日本人にかかるであろう関税、ホンデュラス国内での税金、その他の課税を免除すること。
- v) 同上の日本人が業務遂行のためにホンデュラス国へ入国、または滞在するために必要な手続きと許可を取得すること。

資料編

資 料 編 目 次

I	協議議事録（写）（現地調査時）	1
II	協議議事録（写）（ドラフトレポート説明時）	13
III	調査団の構成	18
	（1）現地調査調査団の構成	18
	（2）ドラフトレポート説明調査団の構成	19
IV	調査日程	20
	（1）現地調査時	20
	（2）ドラフトレポート説明時	24
V	面談者リスト	26
VI	収集文献リスト	28

I 協議議事録(写) (現地調査時)

MINUTA DE DISCUSIONES SOBRE EL ESTUDIO DE DISEÑO BASICO
PARA EL PROYECTO DE CONSTRUCCION DEL INSTITUTO NACIONAL DE
INVESTIGACION Y CAPACITACION EDUCATIVA (INICE) EN LA REPUBLICA
DE HONDURAS

En respuesta a la solicitud formulada por el Gobierno de la República de Honduras, el Gobierno de Japón decidió realizar el estudio del Diseño Básico para el Proyecto de Construcción del "Instituto Nacional de Investigación y Capacitación Educativa" (que en adelante se denominará "El Proyecto"); y la Agencia de Cooperación Internacional de Japón (que en adelante se denominará "JICA") se encargó del Estudio.

JICA envió a la República de Honduras la Misión del Estudio encabezada por el Dr. Terumi Nakano, Catedrático de la Universidad Cristiana Internacional del 25 de Mayo al 18 de Junio de 1987.


La Misión, durante su estadía en el país, sostuvo una serie de discusiones sobre el Proyecto con las autoridades del Gobierno de la República de Honduras y realizó un estudio del sitio destinado para el Proyecto y cuya ubicación es en Tegucigalpa.

Como resultado, ambas partes acordaron recomendar a sus respectivos Gobiernos y Autoridades correspondientes, examinar los resultados del Estudio que se adjuntan, para la realización del Proyecto.

Tegucigalpa, D.C., 3 de Junio de 1987.

T. Nakano

DR. TERUMI NAKANO
JEFE DE LA MISION
JAPONESA DE JICA


M. Pavetti
SECRETARÍA GENERAL DE MARTINEZ PAVETTI
MINISTERIO DE EDUCACION PUBLICA
REPUBLICA DE HONDURAS

A P E N D I C E

1. **OBJETIVOS DEL PROYECTO:**

Contribuir al mejoramiento de la calidad de la educación y por consiguiente al desarrollo económico y social en Honduras, a través de la capacitación de los Docentes en Servicio.

2. **ACTIVIDADES Y CONTRAPARTES PARA PODER CAPACITARSE EN EL INICE:**

La actividad principal del INICE será ejecutar la capacitación de los Docentes en Servicio y al mismo tiempo, realizar investigación y estudios necesarios, la colección de los datos y el desarrollo de los materiales de enseñanza a fin de asegurar la eficiencia en la capacitación.

Las Contrapartes objeto de capacitación son los Docentes en Servicio que trabajan en Educación Primaria y en Educación Media (Ciclo Común, Educación Técnica y Educación Normal), bajo la supervisión del Ministerio de Educación Pública. El Plan de Actividades se indica en Anexo I.

3. **EL SITIO DEL PROYECTO:**

El terreno propuesto por el Gobierno de la República de Honduras para la ejecución del Proyecto se indica en el Anexo II.

4. **AUTORIDAD PARA LA EJECUCION DEL PROYECTO:**

El Ministerio de Educación Pública de Honduras es la Autoridad para ejecutar este Proyecto. El Ministerio promete asegurar el presupuesto y el personal necesario para la operación del INICE.

5. **PROPUESTA DEL GOBIERNO DE LA REPUBLICA DE HONDURAS:**

La Misión de Estudio del Diseño Básico para el Proyecto, transmitirán al Gobierno de Japón el deseo del Gobierno de Honduras de obtener la cooperación Financiera No Reembolsable para construir edificios, instalaciones anexas y equipos descritos en el Anexo III, dentro del marco del programa de la Cooperación Financiera No Reembolsable de Japón.

6. **MEDIDAS NECESARIAS QUE TOMARA EL GOBIERNO DE HONDURAS PARA LA IMPLEMENTACION DEL PROYECTO:**

El Gobierno de la República de Honduras tomará las medidas necesarias descritas en el Anexo IV, para facilitar la realización del Proyecto

I. Nakano

W. M. Sauer

...2/

en caso de que el Gobierno de Japón apruebe el Proyecto.

7. SISTEMA DE LA COOPERACION FINANCIERA NO REEMBOLSABLE DE JAPON:

Ambas partes confirmaron que la Misión Japonesa había explicado el mecanismo del Programa de la Cooperación Financiera no Reembolsable de Japón y la parte Hondureña había comprendido dicho mecanismo.

8. COOPERACION TECNICA:

La parte Hondureña expresa el deseo de envío de expertos japoneses y aceptación de los contrapartes Hondureños en categoría de becarios para poder capacitarse en Japón, así como participación de los voluntarios japoneses en lo referente a actividades y administración del INICE, para asegurar la eficiencia y desarrollo del proceso del Proyecto.

I. Nakano

William Paul

PLAN DE ACTIVIDADES

ANEXO I

Las actividades de INICE son capacitación de Areas mencionadas abajo y Desarrollo de Recursos de Aprendizaje e Investigación para su realización.

AREA	SUB-AREA	ASIGNATURA	EJEMPLOS DE CURSO DE CAPACITACION	PARTICIPANTES BENEFICIARIOS	NIVEL EDUCATIVO	
CIENTIFICA	MATEMATICAS	ARITMETICA	Ejemplos innovativos de la enseñanza de la Matemáticas.	Docentes	NP/CC/ET/EN	
		GEOMETRIA	Hacia el aprendizaje funcional de la Geometría en la Escuela Primaria	-dito-	-dito-	
		ALGEBRA	Cómo hacer efectivo la enseñanza del Algebra	-dito-	-dito-	
		TRIGONOMETRIA	Nuevas estrategias en la enseñanza de la Trigonometría.	-dito-	-dito-	
		ESTADISTICA	Problemas en la enseñanza de la Estadística	-dito-	-dito-	
		CIENCIA GENERAL	Enseñanza efectiva de las Ciencias Naturales.	Docentes	CC/ET/EN	
		FISICA	Cómo facilitar el aprendizaje de la Física	-dito-	-dito-	
		QUIMICA	Cómo superar los problemas de aprendizaje de la Química en la Escuela Hondureña.	-dito-	-dito-	
		BIOLOGIA	Innovación de la enseñanza de la biología	-dito-	-dito-	
				Cómo administrar un Laboratorio de Ciencias	-dito-	-dito-
TECNOLOGIA	ACTIVIDADES PRACTICAS	EDUCACION PARA EL HOGAR, CORTE Y CONFECCION, NUTRICION (MIL-MENTOS).	Problemas de la desnutrición en Honduras.	Docentes	NP/CC/ET/EN	
		ARTESANIAS, MANUALIDADES	Enfoque de las Actividades Prácticas hacia el desarrollo nacional.	-dito-	-dito-	
		SALUD E HIGIENE	Cómo la Escuela puede ayudar al mejoramiento de la Salud de la población Hondureña.	-dito-	-dito-	
		HORTICULTURA	Problemática en el Sector Agropecuario	Docentes	NP/CC/ET/EN	
		APICULTURA	Desarrollo efectivo de Proyectos Agropecuarios.	-dito-	-dito-	
		AVICULTURA	Vinculación de la Escuela al desarrollo Agropecuario Nacional.	-dito-	-dito-	
		CRIA DE ANIMALES				
		EDUCACION TECNICA INDUSTRIAL		Intercambio Tecnológico para el Desarrollo Industrial.	Docentes	ET
				Principios didácticos y metodológicos de la Instrucción en Educación Técnica.	-dito-	-dito-
				Reforzamiento tecnológico y Metodológico en la enseñanza de las máquinas y herramientas.	-dito-	-dito-
		Actualización en mecánica automotriz	-dito-	-dito-		
		Reforzamiento Tecnológico y Metodológico en la enseñanza de Construcciones Metálicas	-dito-	-dito-		

J. Nakano *J.M. Nakano*

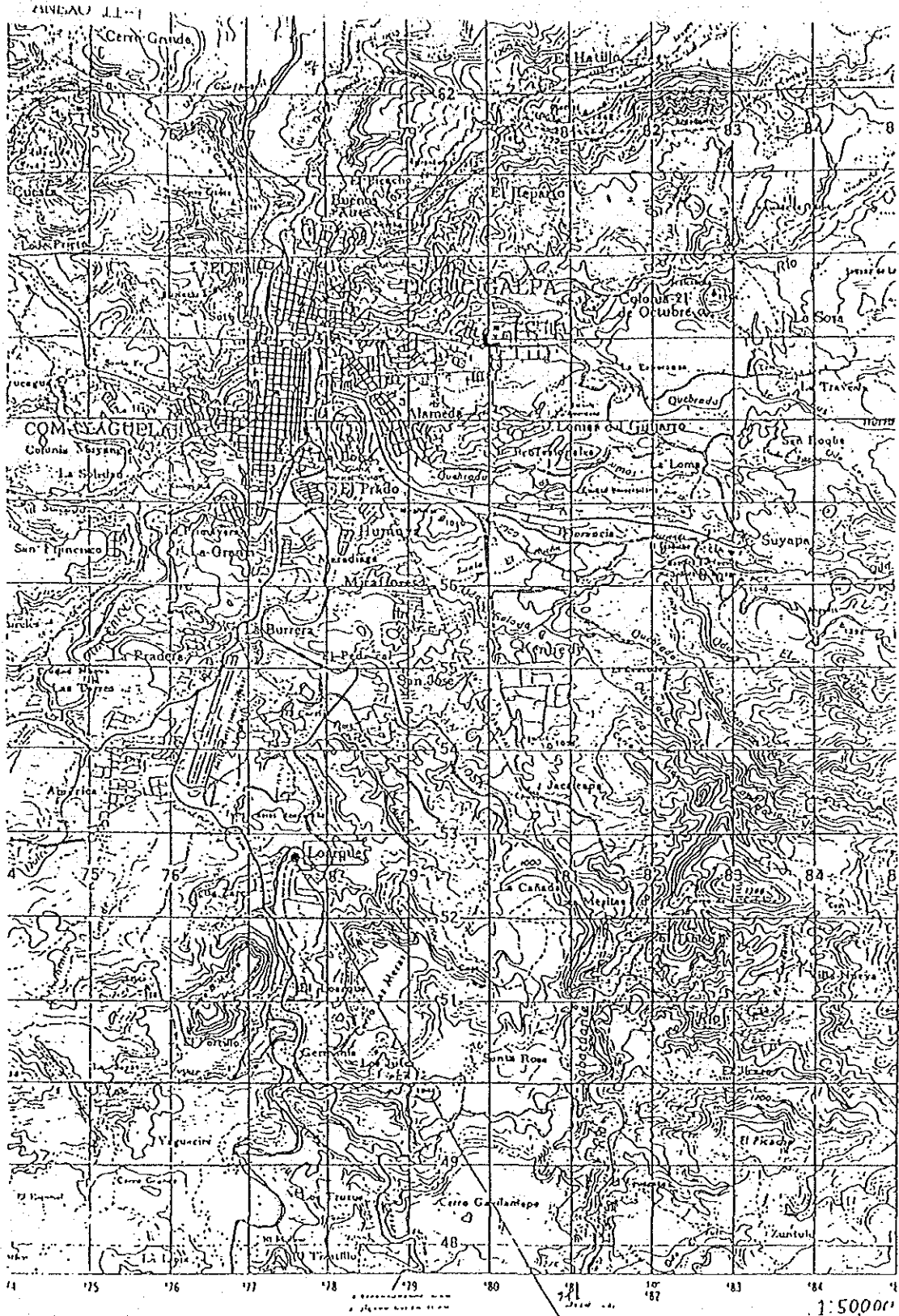
AREA	SUB-AREA	ASIGNATURA	EJEMPLOS DE CURSO DE CAPACITACION	PARTICIPANTES BENEFICIARIOS	NIVEL EDUCATIVO	
CIENCIAS SOCIALES Y COMUNICACION	ESTUDIOS SOCIALES	ELECTRICIDAD Y ELECTRONICA	Reforzamiento Tecnológico y Metodológico en la Enseñanza de la electricidad y Electrónica.	-dito-	-dito-	
		MADRES	Didáctica de proceso de madera	-dito-	-dito-	
	ESPAÑOL	HISTORIA	Problemas Sociales del Hordureño en la Historia del país.	Docente	CV/CM/ET/EN	
		GEOGRAFIA	El Docente eficiente en la enseñanza de la Geografía	-dito-	-dito-	
		EDUCACION CIVICA Y MORAL SOCIOLOGIA	Enfoques innovadores en la enseñanza de los Estudios Sociales.	-dito-	-dito-	
	EDUCACION GENERAL	LECTURA Y ESCRITURA	LITERATURA	Un estudio analítico de la problemática de la enseñanza del lenguaje en la Escuela Hondureña	Docente	NE/NM/ET/EN
			GRAMATICA	La Comunicación a través de la lectura y Escritura.	-dito-	-dito-
			ORTOGRAFIA	Ideas para enseñanza creativa del Español	-dito-	-dito-
			REDACCION			
			ARTES PLASTICAS	Mejoramiento de la calidad de la enseñanza de Artes Plásticas	Docente	NE/NM/ET/EN
EDUCACION FISICA Y DEPORTES	EDUCACION MUSICAL	DANZA Y FOLKLORE	Efectividad Educativa de la música en la Escuela. Métodos activos de Educación Musical Métodos activos de danza y folklore	-dito- -dito- -dito-	-dito- -dito- -dito-	
		GIMNASIA	Cómo estimular el desarrollo del atletismo en Honduras.	Docente	NE/NM/ET/EN	
		ATLETISMO DEPORTES	Método de enseñanza de juego de pelota Métodos motivadores para el deportista hondureño.	-dito-	-dito-	
ADMINISTRACION	PLANIFICACION	ORGANIZACION	Instrumentos para la solución de problemas en la Administración Escolar. Nuevas estrategias de Planeamiento y Supervisión.	Administrador	NE/NM/ET/EN	
		DIRECCION	El Director Escolar como líder instruccional.	-dito-	-dito-	
		CONTROL	Motivación de los docentes para la excelencia.	-dito-	-dito-	
			Efectivas técnicas de Evaluación del Docente.	-dito-	-dito-	

J. Nakano


AREA	SUB-AREA	ASIGNATURA	EJEMPLOS DE CURSO DE CAPACITACION	PARTICIPANTES BENEFICIARIOS	NIVEL EDUCATIVO
RECURSOS DE APRENDIZAJE	ELABORACION DE MATERIALES				
	DIDACTICA		Nuevas ideas en el uso de Recursos de Aprendizaje.	Docente	NP/NA/ET/EN
	USO DE EQUIPOS		Estrategias de Enseñanza para el desarrollo del pensamiento crítico y creativo.	-dito-	-dito-
			Cómo suplir la falta de equipo y materiales en la Escuela	-dito-	-dito-
			Reforzamiento didáctico para los docentes	-dito-	-dito-

J. Nakawa

[Handwritten signature]



MINISTERIO DE COMUNICACIONES Y OBRAS PÚBLICAS
DIRECCIÓN GENERAL DE CARTOGRAFÍA

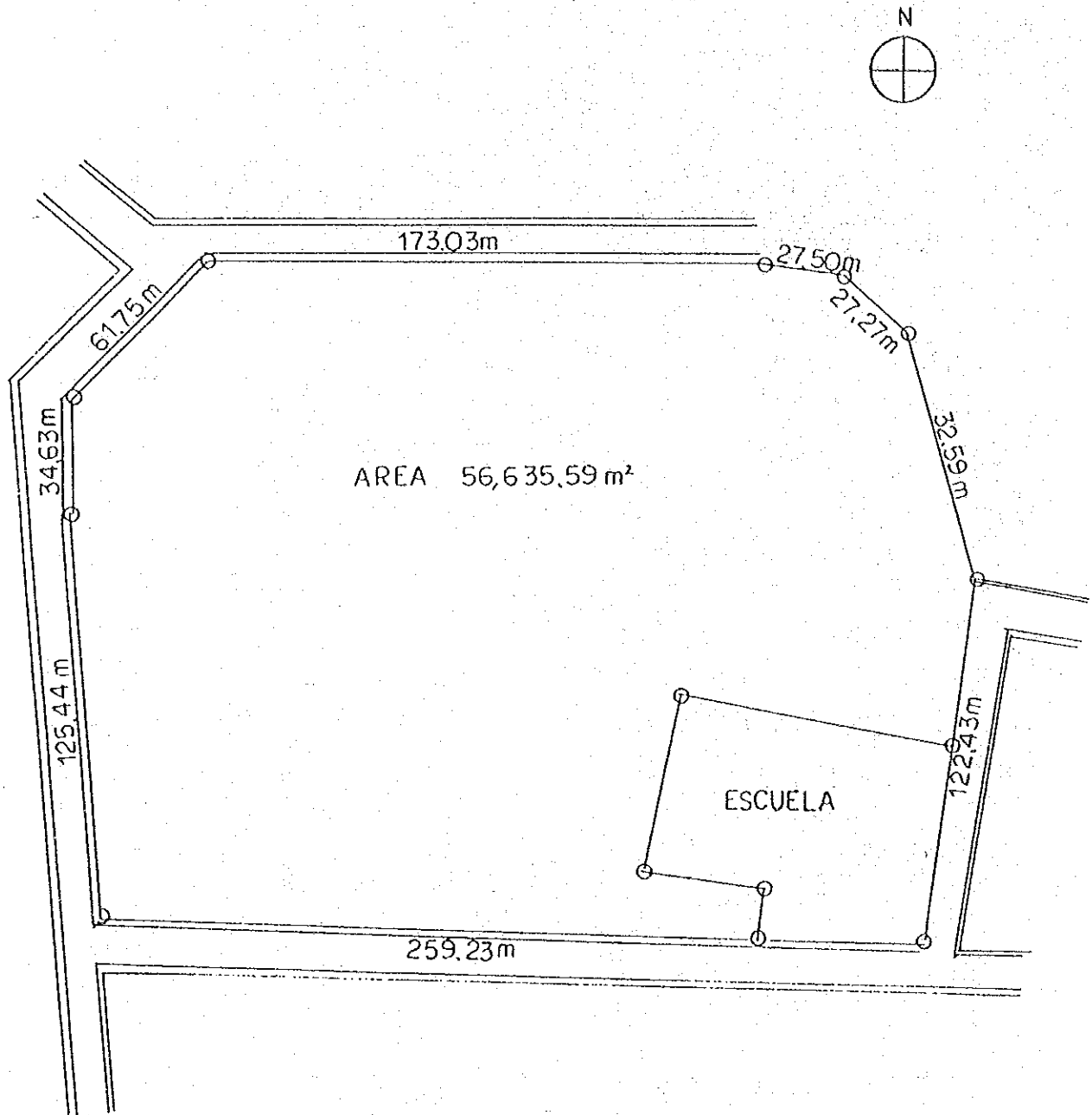
El sitio del Proyecto

Dirección General de Cartografía (DGC), del Ministerio de Comunicaciones y Obras Públicas en colaboración con el Instituto Geográfico Nacional (IGN). Revisión en 1981 por el método estereofotogramétrico (MULI).

J. M. ...
G. M. ...

ANEXO II-2

EL SITIO DEL PROYECTO



J. Nakano *Elm. Ins. Paulett*

ANEXO III

Componentes de la propuesta de la República de Honduras

1. Edificios e Instalaciones
 - a) area de administración
 - b) Area de investigación y capacitación
 - c) Talleres de actividades prácticas
 - d) Comedor
 - e) Alojamiento
 - f) Gimnasio
 - g) Otros anexos relacionados

2. Equipos necesarios para ejecutar los cursos siguientes y relacionados.
 - a) Matemática
 - b) Ciencias Naturales
 - c) Actividades Prácticas/El Hogar
 - d) Agropecuaria
 - e) Educación Técnica Industrial
 - f) Estudios Sociales y Comunicación
 - g) Educación General
 - h) Administración
 - i) Recursos de Aprendizaje

3/6/87

adm*

J. Nakano *W. M. Pavetto*

A N E X O I V

Las medidas siguientes se tomarán bajo la responsabilidad del Gobierno de la República de Honduras.

1. Aseguramiento de un lote de terreno para la construcción.
2. Limpieza, nivelación y reclamo del sitio antes del comienzo de la construcción para que no impidan la obra de construcción cuando sea necesario.
3. Construcción de entrada y cerca alrededor del sitio cuando sea necesario.
4. Construcción de las vías de acceso al sitio y construcción secundaria como plantación etc. Si es necesario.
5. Provisión de facilidades siguientes:
 - 1) Electricidad Línea de distribución al sitio
 - 2) Suministro de agua Distribución de agua urbana hasta el sitio.
 - 3) Drenaje Cañería urbana de drenaje hasta el sitio.
 - 4) Sistema telefónico Línea troncal telefónica hasta el basidor.
Panel distribución principal del edificio (P.D.F.)
 - 5) Muebles y equipo Muebles generales (alfombras, cortinas, sillas y otros) que no se usarán para los objetivos de capacitación e investigación.
6. Pago de las comisiones siguientes al banco japonés de cambio de moneda exterior por concepto de servicios bancarios basados en el A/B.
 - 1) Comisión de aviso de A/P
 - 2) Comisión de Pago
7. Descarga y trámite aduanero en el puerto de desembarque del país receptor.
Exención de impuestos y derecho de aduana de los productos en el puerto de desembarque.

J. Nakano *El M. S. Paetz*

...2

Anexo IV

8. Otorgamiento a los nacionales japoneses cuyos servicios sean requeridos en conexión con el suministro de los productos y servicios estipulados en el contrato verificado, las facilidades necesarias para su entrada y permanencia en el país receptor para la ejecución de los trabajos.
9. Mantenimiento y uso adecuados y efectivos de las facilidades construídas y de los equipos comprados según contrato.
10. Asunción de todo gasto que no esté cubierto por la Donación (Cooperación Financiera no Reembolsable), necesario para construir las facilidades así como para el transporte e instalación del equipo.

3/6/87.

adm*

J. Nakano *William G. Barrett*



SECRETARIA DE ESTADO
En el Despacho de
Educación Pública
REPUBLICA DE HONDURAS

COMAYAGUELA, 3 de junio, 1987

Doctor
TERUMI NAKANO
Jefe de la Misión Japonesa
de Diseño Básico del Proyecto INICE
Su Oficina

Respetable Doctor Nakano:

Por la presente saludo a usted de la manera más respetuosa en ocasión de manifestar a usted que la Secretaría de Educación Pública, formalmente se compromete a justificar y crear el renglón presupuestario para 1988 de los Fondos que constituirán la contraparte Nacional para dicho año del Proyecto de Construcción del Instituto de Investigación y Capacitación Educativa, el cual será financiado con fondos no reembolsables provenientes de su ilustre Gobierno.

Doctor Nakano, manifiesto a usted nuestro interés porque dicho proyecto se realice en beneficio del pueblo hondureño como una manifestación más de la mejor manera de acercar a los pueblos en una verdadera convivencia pacífica.

Sin otro particular me es grato suscribirme del Señor Jefe de la Misión, con mis mejores muestras de mi más alta consideración.



Elisa Valle de Martínez Pavetti
ELISA VALLE DE MARTINEZ PAVETTI
Ministra de Educación Pública

CM/Ana,

II 協議議事録(写) (ドラフトレポート説明時)

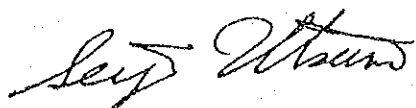
MINUTA DE DISCUSIONES SOBRE EL ESTUDIO DE DISEÑO BASICO
PARA EL PROYECTO DE CONSTRUCCION DEL INSTITUTO NACIONAL DE
INVESTIGACION Y CAPACITACION EDUCATIVA (INICE)
EN LA REPUBLICA DE HONDURAS

En respuesta a la solicitud formulada por el Gobierno de la República de Honduras, el Gobierno del Japón decidió realizar el estudio de Diseño Básico para el Proyecto de Construcción del "INSTITUTO NACIONAL DE INVESTIGACION Y CAPACITACION EDUCATIVA" (que en adelante se denominará "El Proyecto") y la Agencia de Cooperación Internacional de Japón (que en adelante se denominará "JICA") se encargó del estudio. JICA envió a la República de Honduras la Misión del Estudio encabezada por el Dr. TERUMI NAKANO, Catedrático de la Universidad Cristiana Internacional, del 25 de mayo al 18 de junio de 1987.

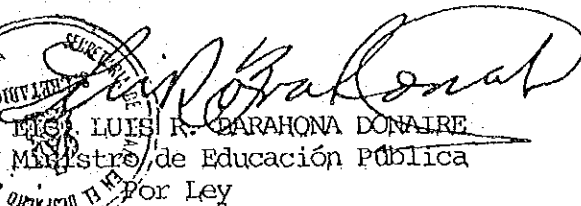
Como resultado del estudio, JICA preparó un borrador del Informe Final y mandó una Misión presidida por el Dr. SEIJI UTSUMI, Especialista de Cooperación Internacional del Instituto de la Cooperación Internacional, JICA, para explicar y acordar el contenido del Diseño Básico con las autoridades del Gobierno de Honduras, desde el 16 de septiembre hasta el 25 de septiembre de 1987.

Ambas partes sostuvieron una serie de discusiones sobre el Informe y acordaron recomendar a sus respectivos Gobiernos y Autoridades correspondientes, examinar los principales Acuerdos que se adjuntan con miras a la realización del Proyecto.

Tegucigalpa, D.C., 24 de septiembre de 1987



DR. SEIJI UTSUMI
Jefe de la Misión del Estudio
de Diseño Básico JICA



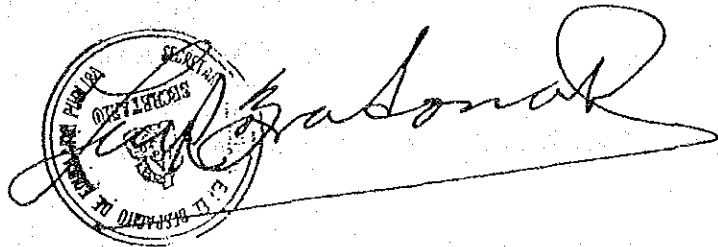
LUIS R. BARAHONA DONALDE
Ministro de Educación Pública
Por Ley

A N E X O

1. La parte Hondureña, principalmente, acordó el contenido del borrador del Informe Final del Diseño Básico del Proyecto y ambas partes están de acuerdo en la modificación que se indica en el Apéndice I.
2. La parte Hondureña ha comprendido el sistema de la Cooperación Financiera No Reembolsable del Gobierno del Japón y aseguró que se tomarán las medidas necesarias al Proyecto por la parte Hondureña, que se indican en el Apéndice II, las cuales están mencionadas en el Anexo IV de la Minuta firmada por ambas partes el 3 de junio de 1987, en caso de que el Gobierno del Japón apruebe el Proyecto.
3. La parte Hondureña se comprometió a asegurar el presupuesto y personal necesario para la operación y mantenimiento efectivo del Proyecto desde la etapa inicial, cuando marche la ejecución de la cooperación financiera no reembolsable del Gobierno del Japón.
4. El Informe Final se presentará (10 copias en Español) a la parte Hondureña antes de iniciar el mes de noviembre del presente año.

Seip Ochoa

[Signature]



A P E N D I C E I

Esta modificación se examinará en Japón en consulta con las Autoridades correspondientes y el resultado se incorporará en el Informe Final.

El número de unidad de los equipos mencionados abajo alterará lo siguiente:

Sala de Metalistería y Mecánica General

Torno	2 unidades
Fresadora Universal	1 unidad
Máquina para medir compresión y tracción	1 unidad
Máquina para medir impacto.	1 unidad
Aparatos Metrológicos	1 juego

Vehículos para curso de capacitación e investigación educativa

Microbús	1 unidad
Furgoneta de doble tracción	4 unidades
Camioneta de 1 tracción	1 unidad

Seip. M...

Juan Galvez

A P E N D I C E I I

Las medidas siguientes se tomarán bajo la responsabilidad del Gobierno de la República de Honduras.

1. Aseguramiento de un lote de terreno para la construcción
2. Limpieza, nivelación y reclamo del sitio antes del comienzo de la construcción para que no impidan la obra de construcción cuando sea necesario.
3. Construcción de entrada y cerca alrededor del sitio cuando sea necesario.
4. Construcción de las vías de acceso al sitio y construcción secundaria como plantación etc. Si es necesario.
5. Provisión de facilidades siguientes:
 - 1) Electricidad Línea de distribución al sitio
 - 2) Suministro de agua Distribución de agua urbana hasta el sitio
 - 3) Drenaje Cañería urbana de drenaje hasta el sitio
 - 4) Sistema Telefónico Línea troncal telefónica hasta el bastidor
Panel distribución principal del Edificio (P.D.F.)
 - 5) Muebles y Equipo Muebles Generales (alfombras, cortinas, sillas y otros) que no se usarán para los objetivos de capacitación e investigación.
6. Pago de las comisiones siguientes al banco japonés de cambio de moneda exterior por concepto de servicios bancarios basados en el A/B.

Seip Wilson



[Signature]


- 1) Comisión de Aviso de A/P
 - 2) Comisión de Pago
7. Descarga y trámite aduanero en el puerto de desembarque del país receptor.

Exención de Impuestos y Derecho de Aduana de los productos en el puerto de desembarque.

8. Otorgamiento a los nacionales japoneses cuyos servicios sean requeridos en conexión con el suministro de los productos y servicios estipulados en el contrato verificado, las facilidades necesarias para su entrada y permanencia en el país receptor para la ejecución de los trabajos.
9. Mantenimiento y uso adecuados y efectivos de las facilidades construídas y de los equipos comprados según contrato.
10. Asunción de todo gasto que no esté cubierto por la Donación (Cooperación Financiera no Reembolsable), necesario para construir las facilidades así como para el transporte e instalación del equipo.

Seip Utrera

R. Zalazar



Ⅲ 調査団の構成

(1) 現地調査調査団の構成

団 長	中 野 照 海	国際基督教大学 教 授
教育計画	内 海 成 治	国際協力事業団 国際協力総合研修所 国際協力専門員
技術協力	甲 斐 直 樹	国際協力事業団 青年海外協力隊事務局、派遣一課
計画管理	萱 島 信 子	国際協力事業団 無償資金協力計画調査部 基本設計調査第二課
建築計画	江 藤 健 夫	株式会社 横河建築設計事務所
建築設計	井 出 経 一	同 上
建築設備	萩 原 清 孝	同 上
機材計画	久保田 修 平	同 上
積 算	三 沢 喜 選	同 上
通 訳	渡 辺 喜美子	同 上

(2) ドラフトレポート説明調査団の構成

団 長	内 海 成 治	国際協力事業団 国際協力総合研修所 国際協力専門員
計画管理	甲 斐 直 樹	国際協力事業団 青年海外協力隊事務局、派遣一課
建築計画	江 藤 健 夫	株式会社 横河建築設計事務所
建築設計	井 出 経 一	同 上
機材計画	久保田 修 平	同 上
通 訳	渡 辺 喜美子	同 上

Ⅳ 調 査 日 程

(1) 現地調査時

現地調査

調査は1987年5月25日から同年6月18日まで25日間にわたって実施された。以下はその行動日程である。

	月 日	曜 日	調 査 内 容
第1日	5月25日	月	成 田 発、メキシコシティ着
2	26日	火	メキシコシティ発、サン・サルバドル着（飛行機便接続不良による。）
3	27日	水	サン・サルバドル発、テグシガルパ着 日本大使館表敬訪問、JICA事務所打合せ 文部大臣表敬訪問、文部省と協議 サイト予定地視察
4	28日	木	関連施設視察 ①小学校 ②国立高等師範学校 ③国立小学校教員養成校 経済予算企画省次官表敬訪問 文部省と協議 建築に関するデータ、 資料収集開始
5	29日	金	文部省と協議 関連施設調査 ①技術中学校 ②技術高校 上・下水道局（SANAA）訪問調査
6	30日	土	文部省と協議 青年海外協力（JOCV）隊員と懇談 ガス会社（TROPIGAS）、コンクリート会社
7	31日	日	文部省と協議

	月 日	曜 日	調 査 内 容
7	5月31日	日	関連施設視察（三沢・久保田・萩原） ①農業開発研修センター（日本国無償援助案件） ②教員再教育研修所（米合衆国 “ ”）
8	6月 1日	月	文部省と協議 電力会社（ENECH） 電信電話会社（HONDUTEL） } 訪問調査
9	2日	火	文部省と協議 ミニッツ案作成 エンジニア協会 建設工業協会 } 訪問調査
10	3日	水	日本大使館、JICA事務所報告 文部省と施設・機材について協議（コンサル） ミニッツ署名 コンクリート会社、鉄骨会社 訪問調査
11	4日	木	中野団長、内海、甲斐、萱島団員帰国 文部省と協議 文部省建設局と協議 自治大学訪問調査
12	5日	金	文部省と協議 関連施設調査 ①文部省印刷工場 税関局、商務局 訪問調査
13	6日	土	サイト予定地詳細踏査 地元建設会社訪問調査
14	7日	日	関連施設視察（江藤、井出、渡辺） ①農業開発研修センター ②教員再教育研修所 資料整理

	月 日	曜 日	調 査 内 容	
15	6月 8日	月	関連施設視察 ①国立高等師範学校 ②普通中学校 ③自治大学 中央銀行、航空局 訪問調査	
16	9日	火	文部省学校建設局と協議 通関業務会社訪問調査 地元建材店訪問調査	
17	10日	水	三沢団員マイアミへ資材調査に向う 関連施設視察 ①チョコレートモデル農村開発プロジェクト（現在工事中の 日本国無償案件）（江藤・萩原） ②高等学校体育館 地元建築材料メーカー訪問調査	
18	11日	木	文部省と協議 建設工事現場訪問調査 関連施設視察 ①高等学校体育館	米合衆国（マイアミ市） 建設資材調査
19	12日	金	公共事業省 地元建築設計事務所 地元建設会社	訪問調査
20	13日	土	萩原、久保田団員帰国 市内公共建築物見学	
21	14日	日	資料整理 施設計画	
22	15日	月	日本大使館、JICA事務所へ報告 文部次官へ報告 建築家協会訪問調査	

	月 日	曜 日	調 査 内 容
23	6月16日	火	江藤、井出、渡辺団員帰国 テグシガルパ発 ロスアンゼルス着
24	17日	水	ロスアンゼルス発
25	18日	木	成 田 着

(2) ドラフトレポート説明時

	月 日	曜 日	調 査 内 容
第1日	9月16日	水	東 京 発 メキシコシティ着
2	17日	木	メキシコシティ発 テグシガルパ着 J I C A事務所と調査日程の打ち合わせ
3	18日	金	J I C A事務所での打ち合わせ 駐ホ日本国大使館打ち合わせ 文部大臣表敬訪問 文部省と協議 ①調査の目的 ②調査の日程 ③レポートの概略説明
4	19日	土	文部省技術室と協議 無償資金協力の流れと手続きを具体的に説明 サイトを視察 J O C V隊員と意見交換
5	20日	日	書類整理
6	21日	月	文部省と協議 ドラフトレポートに関して意見交換 施設及び機材について意見交換
7	22日	火	文部省と協議 昨日の協議での懸案を回答 施設及び機材について詳細に説明 経済予算企画省次官表敬訪問
8	23日	水	文部省と協議 ミニッツ案の協議 建築について更に詳細な協議

	月 日	曜 日	調 査 内 容
第 8 日	9 月 2 3 日	水	J I C A 事務所 で 書 類 整 理 (内 海 団 長 ・ 甲 斐 団 員) 文 部 省 技 術 室 と 協 議 (コ ン サ ル タ ン ト) 書 類 整 理 建 設 関 連 資 料 収 集 (井 出)
9	2 4 日	木	書 類 整 理 建 設 関 連 資 料 収 集 (井 出) ミ ニ ッ ツ に 調 印 J I C A 事 務 所 に 報 告 日 本 国 大 使 館 に 報 告
1 0	2 5 日	金	内 海 団 長 、 江 藤 、 井 出 、 久 保 田 、 渡 辺 団 員 帰 国 テ グ シ ガ ル パ 発 ニ ュ ー ヨ ー ク 着 甲 斐 団 員 別 業 務 の た め 残 留
1 1	2 6 日	土	ニ ュ ー ヨ ー ク 発
1 2	2 7 日	日	成 田 着

V 面談者リスト

① 文部省

文部大臣	Lic. Elisa Valle de Martinez Pavetti
文部次官(行政担当)	Lic. Luis R. Barahona Donaire
文部次官(アドミ担当)	Lic. Jose Cecillo Silva
教育企画官	Prof. David Omar Roussel
海外協力(UCCB)部長	Lic. Israel Moya Ramirez
UCCB嘱託	Ing. Jorge Luis Rivera
教育計画改革局局長	Lic. Ada Leticia Vega de Rovelo
" 次長	Prof. Gloria Pinto de Lara
教育計画改革局技術室	Ing. Juan Chang Caceres
	Lic. Orlando Mejia Portillo
	Lic. Carmelina Arias
	Lic. Horacio Pineda Reyes
初等教育局局長	Prof. Amilcar Rivera Calderon
初等教育局	Lic. Juana Vasquez
中等教育局局長	Lic. Eloy Guzman
中等教育局	Prof. Glenda Rivera
	Prof. Samuel Nolasco Argueta
	Prof. Norma Maradiaga de Rodriguez
	Prof. Blanca de Batres
技術教育局局長	Lic. Abel Zelaya
技術教育局	Dr. Benjamin Izaguirre Macias
	Lic. Ricardo Vasquez Mejia
	Lic. Reina E. Herrera De Osorio
成人教育局	Lic. Hernán Rainulfo Lopez Zelaya
学校建設局局長	Ing. Carmen Lastenia Flores
学校建設局	Ing. Rafael Triminio
	Ing. Luis Alonso Martínez
国立高等師範学校校長	Lic. Roque F. Motino

② 経済予算企画省

次官	Lic. Rogelio Ortega
国際技術協力局長	Lic. Ramon Cerna
国際技術協力局	Lic. Guadalupe Hung
	Lic. Maria De La Paz de Borjas
社会計画局長	Dr. Ricardo Lagos

③ 日本人関係者

日本国大使館	特命全権大使	板橋 毅一
	一等書記官	吉村 勝美
JICA事務所	所 長	鶴巻 法岳
	調整員	小林 育夫
	"	堀田 康雄
	専門家	白木 順一
青年海外協力隊員		

文部省中等教育局	喜屋武 幸
	村田 順子
	青木 肇
	石原 敦子
	河野 美恵子
	田口 操
	清水 忠良
文部省技術教育局	大西 博
	黒田 和博
	和田 泰志
	細内 秀夫
	境田 公明
	飯田 典子
文部省体育局	奥村 勤
国立自治大学	江口 ゆかり

VI 収集文献リスト

- 1) テグシガルパの気象データ : ホンデュラス国立気象局
- 2) 統計資料集 (HONDURAS EN CIFRAS) : ホンデュラス中央銀行
(1979~1984)及び(1983~1985)
- 3) 社会保険法 (LEY DEL SEGURO SOCIAL) : ホンデュラス社会保障協会
- 4) 労働法 (CODIGO DEL TRABAJO) : 国立印刷技術協会
- 5) 税関諸法規 (LEY DE ADUANA, CODIGO DE ADUANAS,
REGLAMENTO ADUANERO) : 国立印刷技術協会
- 6) 建築法規 (REGLAMENTO CONSTRUCCIONES) : 首都開発計画局
- 7) 電力使用料金表 : 国立電力公社
- 8) 水道使用料金表 : 国立上・下水道局
- 9) 電話使用料金表 : ホンデュラス電信電話会社
- 10) 建設予定地地勢図及び地質調査報告書

JICA